

和地ひとみレポート No.243

東大和市のブランド・メッセージ（キャッチコピー）が決定

“東京 ゆったり日和 東やまと”の今後の展開は



■東大和市のシティプロモーション

…今、全国の多くの自治体が“シティプロモーション”に取り組んでいます。このレポートでも何度か取り上げましたが、東大和市においても先月「東大和市ブランド・プロモーション指針」を策定・公表し、本格的な取り組みが始まりました。

…シティプロモーションが注目されている背景の一番大きな要素は、人口減少や高齢人口比率の上昇です。多くの自治体がこの人口問題から将来の地域の経済力、活力低下を懸念。地域の活力を維持・増進し、持続的な発展を可能とするために、今後、ますます都市間競争が厳しくなることに直面しています。そこで、多くの人（もしくは企業など）に「選ばれるまち」になることが必要との認識が高まり、今まで取り組んできた産業の振興や生活環境の充実といった取り組みだけに留まるのではなく、その魅力を「選ぶ」主体に適切に伝える努力が不可欠であると考えたことにより、シティプロモーションに注力する自治体が増えています。

【シティプロモーションの一般的な目的と取組み】

◆地域イメージの向上◆

- ・地域の知名度、認知度の向上
- ・地域のブランド価値の向上

◆交流人口の増加◆

- ・地域への来訪者の増加
- ・地域内で活動する人々や団体、事業者の増加

◆定住人口の増加◆

- ・住民の地域への愛着の向上
- ・地域住民の定住志向の高まりと転出者の抑制
- ・転入者の増加

…シティプロモーションへの取組みが早かった自治体は、2000年前半（2004年や2005年など）から取組み始めています。東大和市においては、平成26年（2014年）11月に、国が「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、施行したことを受け、「東大和市人口ビジョン（以下「人口ビジョン」といいます。）」を策定するとともに、平成27年度から平成31年度までの5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す「東大和市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。その具体的な取組みの一つがシティプロモーションですが、東大和市は、一般的なシティプロモーションという言葉を使用せず『ブランドプロモーション』という言葉で取組みを展開していくとのことです。

■ブランド

メッセージが決定

…東大和市のブランドプロモーションの取組みの第一弾として、このたび、東大和市のブランド・メッセージが決定しました。このメッセージは市のキャッチコピーで、市外の人にも東大和市のことを知っていただくことを主たる目的としています。

…メッセージについては、市の職員、「東大和市まち・ひと・しごと創生会議」などで案を策定。7つに候補を絞り、『あなたが市外に住んでいるお友達に東大和市を勧める場合に使いたいメッセージ』という視点で選んでもらうアンケートを実施しました。そして、アンケート結果の中で、特に20代、30代などの若い世代から投票の多かったものが今回のメッセージとのことです。

【決定された東大和市のブランド・メッセージ】

東京 ゆったり日和 東やまと

【アンケートで示されたブランド・メッセージの候補】

- ① 超ドいい！まち 東大和
- ② 東京やまと 陽当たりどころ
- ③ あっ！ 恋した come on 東やまと
- ④ 発進！ 東ヤマト
- ⑤ 暮らし あたらし 東やまと市
- ⑥ 住み良さ ぎゅ！ 東大和
- ⑦ 東京 ゆったり日和 東やまと

■次はロゴを作成

…東大和市のブランド・メッセージが決定し、次に取組んでいるのが『ブランド・メッセージのロゴ』の作成です。このロゴのデザインについては、公募型プロポーザルの方法で募集。その提案限度額は80万円（消費税含む）となっています。募集要項によれば応募に関しては、デザインだけではなく、そのコンセプトとともに、PRグッズの提案内容を記入することも求められています。この募集は事業者向けに行われるものですので、デザインなどを手掛けている会社＝プロの方からの提案を受けることとなります。参加表明の締め切りは6月26日午後5時でしたが、締め切り前に市役所に確認したところ、すでに4社から参加表明が出されているとのこと。どのような提案が出てくるのか、期待しているところです。

裏面に続く）

■最終決定は市民投票により決定

…ロゴデザイン決定までのスケジュールは、企画提案書等必要書類の提出期限（7月3日午後5時）の2日後、下記選定基準に基づいて市職員及び外部有識者8名で構成する選定委員会で選定。その後、8月下旬から9月中旬にかけて市民投票により最終的に決定されたロゴが9月下旬には発表される予定です。そして、10月頃からガイドラインやPRグッズの作成も行われる予定とのことです。

…市民による投票の方法は、紙によるものなのか、市のホームページなどでのインターネット投票なのか、その方法はまだ公表されていませんが、今後、長く使用していくロゴデザインですので、ぜひ、多くの方に投票に参加していただきたいと思ひます。

【募集要項の概要と選定基準】

◆事業概要・目的◆

東大和市は都心部まで電車で40分圏内にあり、通勤・通学の利便性が高いと同時に、多摩湖、狭山丘陵をはじめとする緑豊かな自然環境に恵まれた優良な住宅都市である。また、近年では「日本一子育てしやすいまち」を目指して子ども・子育て支援施策の充実を図り、その実績も評価されつつある。一方で、市の認知度は低く、市の恵まれた環境や住み良さは特に市外には認知されていない。

そこで、平成29年4月に策定した「東大和市ブランド・プロモーション指針」に基づき、広く東大和市の認知度の向上を図るとともに、30代世帯の転入促進の取組として、ブランドメッセージを作成し、活用を図るものである。

◆審査方法◆

書類審査で行い、ヒアリング審査は行わない。選定は、デザイン、執行能力及び価格により審査する。審査の結果、採点の合計が最も高い者を第1位受託候補者として選定する。また、次点を第2位受託候補者として併せて選定する。採点の合計が同点の場合は、選定委員会の多数決により選定する。選定委員の評価点の平均点が最低水準点（4割）未満の業者については、失格とする。

◆選定基準(合計100点)◆

～デザイン(合計80点)～

◇コンセプト(20点)

都内から40分圏内にありながら、自然豊かな環境、子育て支援の充実など生活の利便性を兼ね備えた住み良いまちを表現できているか。

◇方向性(20点)

市外の人に訴求力があると同時に、市民にも親しみをもってもらえるような魅力があるか。

◇ターゲット(20点)

30代の世帯で、これから家を購入する世帯及び未就学児がいる世帯の興味を喚起できるか。

◇汎用性(20点)

長期的に活用できるか。様々な活用方法をイメージできるか。

～執行能力(10点)・価格(10点)～

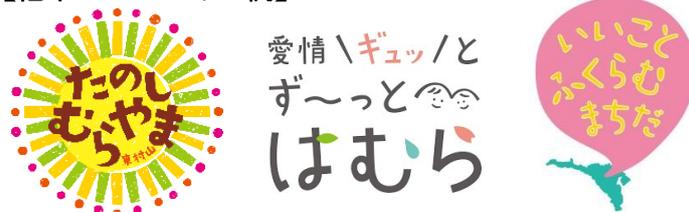
デザイン業務の実績の有無。見積金額の妥当性。

■ちなみに・・・他自治体は

…では、他の自治体のシティプロモーションのメッセージやロゴはどのようなもののでしょうか。全国的に有名なのは香川県の「うどん県」ですが、関東では「母（父）になるなら流山」「住めば愉快だ宇都宮」などが有名。また、ちょっと変わったところでは、品川区の「わ！しながわ」や名古屋市の「名古屋なんて、だいすき」というヒネリのきいたものも。この名古屋のキャッチコピーの選定理由は「名古屋市民の等身大な気持ちを実現して、名古屋らしい。この言葉を投げかけると、なんで？と聞きたくなり、そこから市民が語りだすことが想定できる。」とのことです。

…多摩地域では、お隣の東村山市の「たのしむらやま」、町田市の「いいことふくらむまちだ」や、子育てを前面に出した羽村市の「愛情ギュッと ず〜っと はむら」などがあります。

【他市のロゴマークの例】



■今後のシティプロモーションの展開に期待

…前述のとおり、今は多くの自治体がシティプロモーションに取り組んでおり、正に、自治体活動の一つのトレンドといった様相です。その取り組み方は『民間企業出身の広報担当者を採用する』『市の公式ホームページのほかに動画などを入れたシティプロモーション専用のホームページを作成する』（例：八王子市、羽村市等）など各自治体様々です。

…シティプロモーションは、そこに住む地域住民の愛着度の形成とともに、外部に向けて地域の売り込みをおこなうこと。よって、自治体にはない「営業」という要素が多くあるため、民間企業等の活動から学ぶことが多くあるとも言われています。本格的に始動した東大和市のプロモーションが今後、どのように展開し、効果を上げていくのか注視していきたいと思ひます。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思ひます。」

【プロフィール】

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102